

県水送水管耐震化事業（2系統化） 白山市鶴来大国町～知気寺町間の供用開始について

県では、手取川ダムを水源として、県民のみなさまに安全で安心できるおいしい水を供給するため水道用水供給事業を行っております。

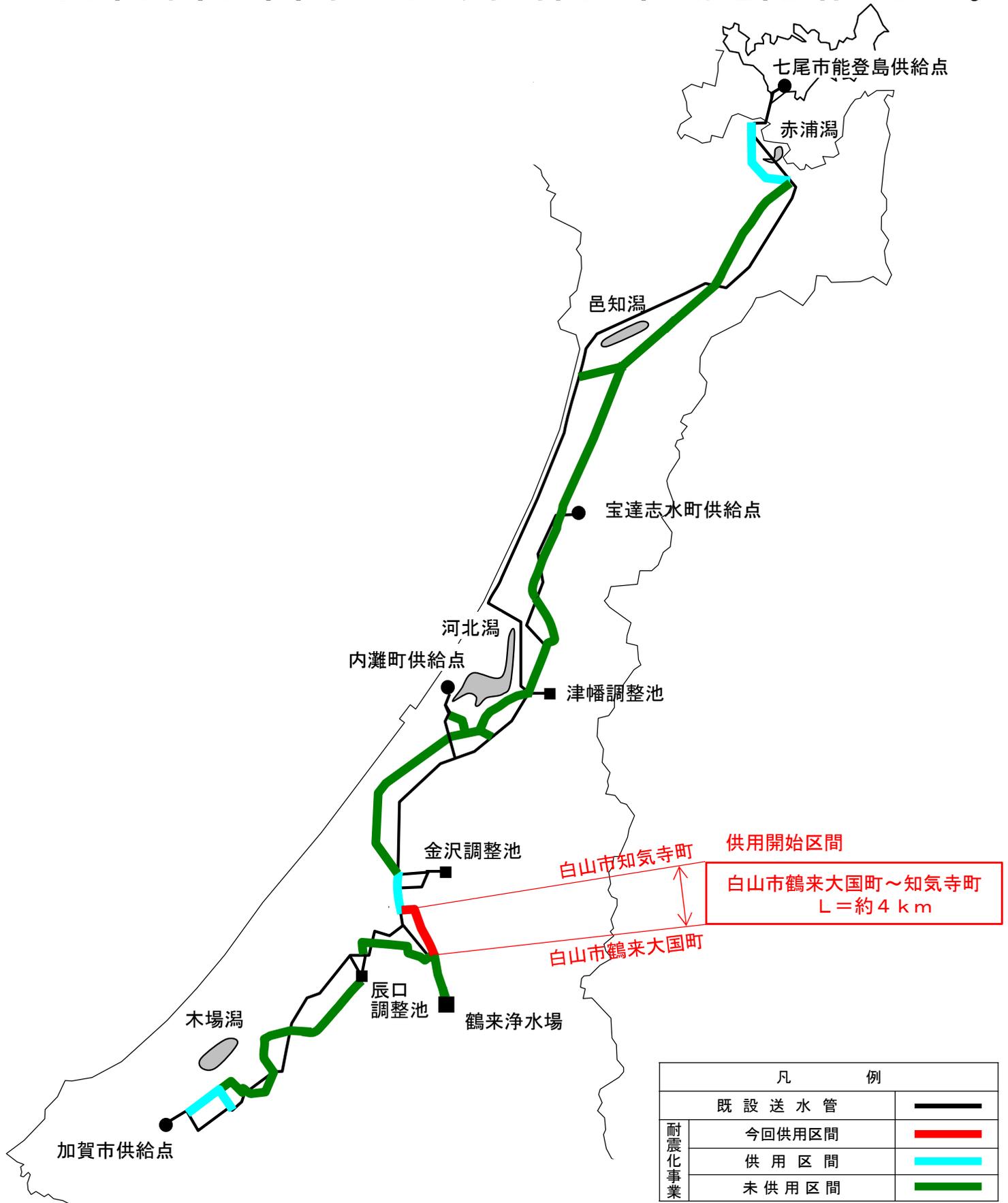
平成19年に発生した能登半島地震を契機に、災害時にも安定して水道水を供給するため、平成22年度より既設の送水管とは別ルートで耐震性の高い送水管を整備し、耐震化（2系統化）を進めています。

今回、白山市鶴来大国町～知気寺町間について、本日、6月25日に供用を開始します。今後とも、県水送水管の耐震化工事を進め、安定的な水道水の供給に努めてまいります。

【供用区間概要】

供用区間： 白山市鶴来大国町～知気寺町
延長： 約4km
口径： 1,100mm
供用日： 令和6年6月25日（火）

県水送水管耐震化事業（2系統化） 白山市鶴来大国町～知気寺町間の供用を開始します。



- ・ 供用開始日：令和6年6月25日
- ・ 供用区間：白山市鶴来大国町～知気寺町
- ・ 供用延長：約4 km
- ・ 送水管口径：1,100 mm